



## 今月の記事

- 医務室の働き
- 大学生が活躍
- ユニット便り
- リレーエッセイ
- 今月の愛の園



看護職員

## 岡本生子 (写真前列右)

ニットを巡回して状態変化のみられる方のバイタルチェック、全ユニットの介護記録の確認、コメントの記入と続きます。ショートステイ入退園者・入浴予定者のバイタルチェック、経過記録の記入、ユニットに届ける投薬袋の調整も気の抜けない作業です。

午後もユニットの巡回、創傷の処置、排泄の支援、看護記録、胃ろう注入と続き、気が付くと18時の最後の巡回を迎えます。広い愛の園で19時の退勤までの歩数は10,008歩でした。帰宅後は夜勤者からの電話に備え、相談や指示ができるよう、また必要に応じて駆けつけられるよう態勢を整えつつ就寝します。

時間に追われつつも入居者・利用者の皆さんの安心・安全のため努めています。医療に関するご意見・ご要望などお聞かせください。



生活相談員

## 千葉明大

9月3日には桜美林大学演劇専修生による合唱寸劇「水戸黄門」が行われ、たいへん好評でした。学生の皆さんの迫真の演技の合間には『ふるさと』や『上を向いて歩こう』等の歌があり、入居者の方々も知らず知らずのうちに劇の世界に引き込まれていました。

最後に学生らが入居者の皆さんをお見送りしてくれた際には、感極まって泣いてしまう入居者もあり、「また来年も来てね」、「最高でした」等の声上がるなか、「必ず来年も来ます」と答えてくれていました。

## ある日の医務室から

愛の園の医務室は、愛の園診療所との協働と他の専門職との連携によって入居者の皆さんの看護と健康管理を行い、お一人お一人の健康維持のため、体調の変化を早期に発見して改善するよう努め、日常生活を有意義に過ごしていただけるよう支援しています。

具体的には定時・随時に検温・血圧・脈拍の測定を行い、ショートステイご利用の方々には開始日と終了日、また必要時に測定を行っています。胃ろうを増設している方々の注入実施の判断と開始、創傷の処置や投薬、受診への同行など、専門職として日々の役割を担っています。また、年2回の定期健康診断を行っています。インフルエンザやノロウイルスなどの感染症対策は最も重要な役割の一つです。予防接種は入居者に加えて全職員も対象としていますが、日常的な予防策も大切です。玄関右側の洗面台での手洗いとうがいを、お越しになった時、お帰りの時に励行して下さいますようご協力お願いします。

当番看護職員として勤務したある一日をご紹介します。午前9時の申し送りに始まり、ユ

## 学生とのふれあいを通じて

今年も関西国際大学教育福祉学科で社会福祉を学ぶ1年生24名によるワークキャンプが、8月8～10日に行われました。

1日目は施設を見学した後、職員の話から福祉職の仕事とその働きについて学びました。2日目は炎暑の中で丸一日かけて居室バルコニーに設置しているエアコン室外機を掃除し、木製保護柵の塗装もしてくれました。

3日目のゲームと歌の集いには、40名を超える方々が参加することができ、3日間にわたって若い力を存分に発揮してくれました。



今年3月に100歳を迎えられたYさんを上富田町長・議長が訪問されお祝いが届けられました 9/3



## ユニット便り 3ユニット

3ユニットの皆さんは、毎日の暮らしの中でご自分にあったスタイルで個性豊かにゆとりの時間を過ごされています。お部屋でゆっくり過ごされる方や、活発な交わりを楽しんでいる方もおられます。

リビングで他の入居者や職員と笑いあり涙あり華やかに毎日を過ごされている方々は、おやつやお茶の合間にDVDで歌番組など鑑賞され、口ずさみ、または拍手をし、昔親しん

でいた大物歌手の歌声に感動しながら、癒しの時間を満喫されています。

皆さんの好みの歌番組やバラエティ番組などを伺い、録画して楽しんでもらっています。一番人気の氷川きよさんのDVDを個人で購入されている方もおられ、ブルーレイの鮮明な画像で、夕食後の6時30分に開演します。少しリッチにソファーに座っていただき、大阪フェスティバルホールの最前列でコンサートに参加されている気分歌声に聞き入れ、心地よく過ごされています。

美空ひばりや都はるみなど、それぞれのリクエストにお応えして余暇の時間が充実できるよう、職員も知恵を出し合い、楽しい時間を提供できたらと思っています。



### リレーエッセイ(15)

## 「突発性難聴になって」

調理職員

鈴木崇充

私は6月5日頃から突然、何の前触れもなく右耳に異様な感覚が生じ、他人の声が聞き取りにくい状態が続きました。

その後、何日か経ちましたが治る気配もないため耳鼻科へ受診したところ、医師から「突発性難聴」という聞き慣れない病名を告げられ驚きました。

発症から治療を開始するまでの期間が早かったため、服薬による治療を1週間行いましたが全く効果がなく、紀南病院を紹介され医師の診断の後、すぐに入院となりました。

右耳以外は特に異常もなく健康な状態でありましたので、入院中の制限等もなく安静にしておいて下さいとのことでした。

入院中は4人部屋で知らない方との共同生活でしたので緊張と不安で疲れましたが、そうした環境に慣れてくると食事とお風呂の時間だけが楽しみなことに気が付きました。

入院により職場の皆さんに迷惑を掛けましたし、2週間の入院を終えても聴力は戻っておらず、今でも定期的に検査を行っている状態ですが、普段何気なく食べている食事、制限のある生活の中ではすごく楽しみなことなのだ痛感させられました。また同時に、自分にとって非常に良い経験にもなりました。

次は介護職員の行森 崇さんにバトンタッチします。



「キリストの愛を以って  
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会  
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103  
和歌山県西牟婁郡上富田町  
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

## 9～10月の愛の園

- 12(木) やまびこ会
- 15(日) 日曜礼拝
- 17(火) ひまわり会
- 18(水) 手芸サークル
- 19(木) やまびこ会
- 20(金) 社協ボランティア来園
- 22(日) 日曜礼拝 ヨネクラ玩具来園
- 25(水) 歯科診療
- 26(木) やまびこ会
- 29(日) 日曜礼拝
- 30(月) 愛の園創立記念日

- 1(火) マリア会
- 2(水) まりもと愉快的仲間たち来園
- 3(木) やまびこ会
- 6(日) 日曜礼拝
- 8(火) マリア会

## 編集者から

先日、福祉新聞にて聴覚障がい者への電話サポート事業のことを知りました。これは聴覚障がい者がオペレーターへ手話や文字を送り、オペレーターが逐次通訳をして本人の代わりに相手に伝えるものであり、電話を利用することでタイムラグがなくコミュニケーションができるというものです。

東日本大震災が発生した2011年9月から東北地方で実施され、現在ユーザー登録数が5000人を超えているとのことでした。

災害時の聴覚障がい者の連絡手段として非常に有効な方法であり、東北に限らず全国に普及していくことで、よりバリアフリーな社会になるのではないのでしょうか。(C)

ホームページもご覧ください。  
Web サイト アドレス:  
<http://shinai.or.jp>